



## 2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社エージェンツ I Gホールディングス 上場取引所 名  
 コード番号 377A URL https://a-gent.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 一戸 敏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務上級執行役員 (氏名) 高橋 真喜子 TEL 03-6280-7818  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年12月期第1四半期の連結業績（2026年1月1日～2026年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	3,528	—	76	—	72	—	47	—
2025年12月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 51百万円 (—%) 2025年12月期第1四半期 ー百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	16.55	—
2025年12月期第1四半期	—	—

(注) 当社は2025年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。また、2026年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	6,551	2,109	31.1
2025年12月期	6,289	2,048	31.6

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 2,036百万円 2025年12月期 1,984百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	—	—	0.00	0.00
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は2025年7月1日に単独株式移転により設立されたため、2025年12月期第2四半期までの実績は記載しておりません。

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,600	4.1	200	37.7	180	27.0	80	720.1	27.78

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 当社は年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期1Q	2,879,848株	2025年12月期	2,879,848株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	一株	2025年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期1Q	2,879,848株	2025年12月期1Q	一株

（注）当社は2025年7月1日に単独株式移転により設立されたため、前年同四半期実績は記載しておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7

## 1. 経営成績等の概況

当社は、2025年7月1日に単独株式移転により完全親会社として設立されたため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により緩やかな回復基調にある一方、物価上昇や海外情勢の影響により先行き不透明な状況が続いています。国内保険業界においては、少子高齢化や販売チャネルの多様化に加え、募集品質やガバナンス体制の厳格化が求められるなど、業界再編の動きが一段と加速しています。

このような経済環境のもと、当社グループはこの業界の転換期を2027年以降に利益増へつながる高収益体質へ移行するための重要な準備期間と位置づけ、「構造改革による収益性改善」と「将来の利益率向上に向けた3つの重点投資」を軸に事業を推進いたしました。グループ人事構造の最適化によるコスト低減を進めるとともに、改正保険業法を見据えた「①ガバナンス基盤の強化」、人財生産エンジンの内製化による「②次世代人財基盤の構築」、そしてグループ共通基幹システム(A-System)の刷新による「③生産性・DX基盤の強化」に対し、戦略的な先行投資を計画的に進めております。

これらの積極的な事業活動の推進により、当第1四半期連結累計期間における営業収益は3,528,799千円と順調に拡大しました。利益面については、営業利益は76,323千円、経常利益は72,505千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は47,653千円となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ①国内事業

国内事業においては、経営課題を抱える保険代理店に対する事業承継の受け皿として引き続き積極的なM&Aを実施するとともに、合流した募集人による損害保険・生命保険のクロスセルを推進いたしました。費用面におきましては、将来の飛躍的な収益拡大を見据え、コンプライアンス体制の構築や基幹システム刷新に向けた準備等の先行費用を計画的に投入いたしました。なお、グループ統合に伴う構造改革によるコスト低減効果については、第2四半期以降に段階的な発現を見込んでいます。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間における営業収益は3,443,138千円、セグメント利益は69,862千円となりました。

#### ②海外事業

米国を中心とする海外事業においては、引き続きローカルマーケットの開拓や既存顧客へのクロスセルを推進し、営業収益の拡大に努めました。一方で、今後のさらなる事業拡大に向けた体制強化のための先行費用が継続して発生しております。

この結果、同事業の当第1四半期連結累計期間における営業収益は85,661千円、セグメント利益は2,643千円となりました。

### (2) 当四半期の財政状態の概況

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,735,939千円となり、前連結会計年度末に比べ288,108千円増加いたしました。主な要因は、現金及び預金の増加271,000千円等であります。

固定資産は1,808,792千円となり、前連結会計年度末に比べ25,490千円減少いたしました。主な要因は、償却によるのれんの減少17,021千円等であります。

この結果、総資産は、6,551,676千円となりました。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は3,534,355千円となり、前連結会計年度末に比べ267,137千円増加いたしました。主な要因は、営業未払金の増加205,595千円等であります。

固定負債は907,980千円となり、前連結会計年度末に比べ66,174千円減少いたしました。主な要因は、長期借入金の減少65,360千円等であります。

この結果、負債合計は、4,442,335千円となりました。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は2,109,340千円となり、前連結会計年度末に比べ61,003千円

増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加47,653千円等であります。

この結果、自己資本比率は31.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期において営業収益及び各段階利益は堅調に推移いたしました。今後も「構造改革」や「将来の利益率向上に向けた重点投資（ガバナンス、人財、生産性・DX基盤の強化）」を計画通り実行する予定であり、2026年2月13日公表の通期連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,745,606	3,016,606
売掛金	1,491,765	1,504,657
その他	219,975	224,076
貸倒引当金	△9,515	△9,400
流動資産合計	4,447,831	4,735,939
固定資産		
有形固定資産	118,288	120,679
無形固定資産		
のれん	882,584	865,563
その他	404,512	392,860
無形固定資産合計	1,287,097	1,258,424
投資その他の資産		
繰延税金資産	270,288	266,002
その他	159,109	164,186
貸倒引当金	△500	△500
投資その他の資産合計	428,898	429,688
固定資産合計	1,834,283	1,808,792
繰延資産	7,594	6,943
資産合計	6,289,709	6,551,676
<b>負債の部</b>		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	273,306	269,733
営業未払金	1,806,543	2,012,138
未払法人税等	105,416	80,958
代理店手数料返金負債	378,939	401,921
賞与引当金	198,399	145,468
その他	504,612	624,134
流動負債合計	3,267,217	3,534,355
固定負債		
長期借入金	972,800	907,440
その他	1,354	540
固定負債合計	974,154	907,980
負債合計	4,241,372	4,442,335
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	397,846	397,846
資本剰余金	1,257,209	1,257,209
利益剰余金	288,874	336,527
株主資本合計	1,943,930	1,991,583
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	262	260
為替換算調整勘定	40,382	44,626
その他の包括利益累計額合計	40,645	44,886
新株予約権	63,761	72,870
純資産合計	2,048,337	2,109,340
負債純資産合計	6,289,709	6,551,676

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
営業収益	3,528,799
営業費用	3,452,476
営業利益	76,323
営業外収益	
受取利息	1,326
受取保険金	599
その他	1,452
営業外収益合計	3,378
営業外費用	
支払利息	5,605
その他	1,591
営業外費用合計	7,196
経常利益	72,505
税金等調整前四半期純利益	72,505
法人税等	24,852
四半期純利益	47,653
親会社株主に帰属する四半期純利益	47,653

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	47,653
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△1
為替換算調整勘定	4,243
その他の包括利益合計	4,241
四半期包括利益	51,894
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	51,894

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	28,850千円
のれんの償却額	17,021千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2026年1月1日 至 2026年3月31日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結財務諸表計上額
	国内事業	海外事業	計		
営業収益					
保険代理店事業	3,406,248	85,661	3,491,910	—	3,491,910
その他	36,889	—	36,889	—	36,889
顧客との契約から生じる収益	3,443,138	85,661	3,528,799	—	3,528,799
外部顧客への営業収益	3,443,138	85,661	3,528,799	—	3,528,799
セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,452	—	1,452	△1,452	—
計	3,444,591	85,661	3,530,252	△1,452	3,528,799
セグメント利益	69,862	2,643	72,505	—	72,505

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。